平成 21 年度特別支援教育研究センター事業報告

１．研究開発機能

１）特別支援教育に関わる現職教育のカリキュラム開発

・現職教員研修のニーズ調査（海外を含む）

２）乳幼児期のアセスメントの開発研究

３）附属特別支援学校間の連携研究

①知的特別支援学校における重複障害児の移行に関する研究
（附属大塚特別支援学校・附属桐が丘特別支援学校・附属視覚特別支援学校）

②視覚障害教育で開発されたアセスメント・教材教具等を見えにくさのある肢体不自由児に適用し、有効性を検証する。
（附属桐が丘特別支援学校・附属視覚特別支援学校）

③社会適応力を中心にしたアセスメントの方法とカリキュラムの編成の在り方の研究
（附属視覚特別支援学校・附属聴覚特別支援学校）

④発達障害や重複障害を持つ幼児のアセスメントと支援方法、園とのコンサルテーションの在り方
（附属大塚特別支援学校・附属桐が丘特別支援学校）

４）国際教育協力事業への協力

・JICA 事業「南米地域　特別支援教育の振興」の研修協力

５）外部資金導入研究

・平成 21 年度「教育プロジェクト支援経費」
・研究１　現職教育プログラムの開発と実践の推進

２．教員研修機能

１）現職教員研修

・６名の研修生の受け入れ（埼玉、千葉、静岡）
・海外からの現職教員の受け入れ（ベトナム）

２）免許法認定公開講座　　平成 21 年 7 月 27 日～ 8 月 7 日

全 10 講座
「特別支援教育の基礎理論」「視覚障害の理解」「聴覚障害の理解」「知的障害の理解」
「肢体不自由の理解」「視覚障害の指導法」「聴覚障害の指導法」「知的障害の指導法」
「肢体不自由の指導法」「障害児の心理・生理・病理・教育課程・指導法論」
受講者数　のべ受講者数 744 名　　のべ単位取得者数 732 名

３）次年度現職教員研修についての検討

４）次年度免許法認定公開講座の企画検討

５）文部科学省「平成２２年度特別支援教育に関する教職員等の資質向上事業（特別支援学校教員の専門性向上）」への協力についての検討

３．理解啓発・交流機能

１）センター主催セミナー開催

シリーズ：特別支援教育の発進（４）
12 月 6 日　筑波大学東京キャンパス（大塚）G501
・講演「特別支援教育の今日的課題」齋藤　佐和氏

・筑波大学附属特別支援学校実践報告
附属久里浜特別支援学校
附属聴覚特別支援学校
シリーズ：特別支援教育の発進（５）
3 月 29 日　筑波大学附属大塚特別支援学校体育館
・講演「特別支援教育の専門性とは」安藤　隆男氏
・筑波大学附属特別支援学校間連携研究報告

２）研究交流セミナー開催

障害科学系との共催
1 月 6 日　東京キャンパスＧ 501
テーマ「筑波大学が取り組むべき特別支援教育の課題」
・講演　文部科学省大臣官房政策評価審議官　辰野　裕一氏
・話題提供　筑波大学障害科学系長　河内　清彦氏
附属久里浜特別支援学校長　西川　公司氏

３）「筑波大学特別支援教育研究　第４巻」の発刊

４）ニューズレター「SNERC 通信」の発行　年間４回

５）リーフレットの作成

・「耳に障がいのある赤ちゃんやお子さんのための療育・教育相談のご案内」
・「視覚に障がいのある赤ちゃんやお子さんのための乳幼児教育相談・育児学級のご案内」